

近藤春美さん(80 歳)は、介護付き有料老人ホーム「BVNGO(ブンゴ)」で暮らしています。起床後、近藤さんは着替えと整容を済ませて居室内のトイレに行きました。排泄が終わったのでコールを鳴らして職員を呼びました。

衣服を整え(※<sup>1</sup>)、喫茶室まで車椅子で移動し、毎日の習慣である花の水やりを行ってください。(ジョウロには水は入っていません)その後、喫茶スペースのテーブルにて飲み物を勧めてください。また、居室のベッドに乱れがあるため、ベッドを整えてください。

※<sup>1</sup>下着は省略、排泄後の処理は終了

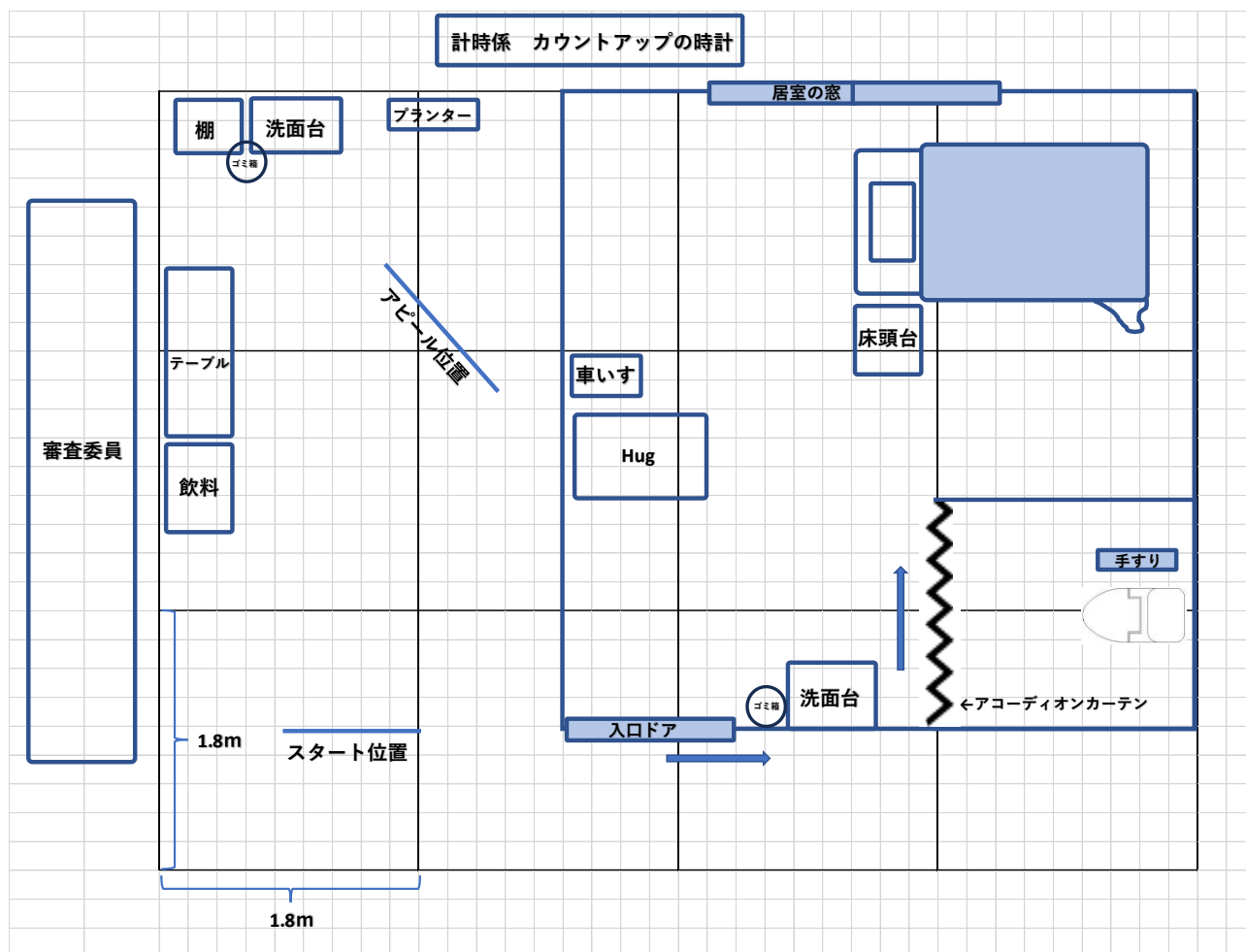
※<sup>2</sup>利用者の返事は、うなずく、首を振る、指をさすのみです。

### 【利用者情報】

健康状態 心身機能 身体構造	50 歳から高血圧となり、降圧剤を服用している。視力、聴力、認知機能は加齢に伴う変化はあるが、日常生活に大きな支障はない。	
活動	<p>立位：支えれば立つことができる。立位保持は、つかまったり支えがあれば可能。(15 秒程度)体調や気分 Hug を使用することがある。</p> <p>移動：車いすの自走が可能だが、体調や気分自走しないこともある。</p> <p>コミュニケーション：日常生活での支障はない。</p> <p>移乗：ベッドや車椅子等からの移乗は一部介助が必要。</p>	<p>食事：常食を自力摂取している。(右利き)</p> <p>排泄：尿意・便意あり。一部介助が必要。</p> <p>入浴：週 2 回の一般浴(個浴)で洗身は自分で行き、一部介助が必要。</p> <p>着脱：衣類は自分で選んでいる。一部介助が必要。</p> <p>整容：概ね自立。</p> <p>外出：車椅子で外出する。</p>
参加	施設職員や他の利用者との関係は良好で、人がいる場所を好む。レクリエーションに対する参加は積極的である。	
個人因子	昭和 18 年 6 月 7 日生(80 歳)。3 年前に自宅の庭先で転倒し、右大腿骨頸部を骨折した。3 ヶ月の入院を経て自宅に戻ったが、活動量や下肢筋力の低下等より、1 人暮らしを続けることに不安を感じて 1 年前施設入所に至った。障害高齢者の日常生活自立度は B1 で介護度は要介護 1 である。大学卒業後、地元の銀行に就職、定年まで勤めあげた。27 歳で同じ銀行に勤める同僚と結婚したが、30 歳で離婚。子どもはいない。在職中は、仕事を熱心に行い、同僚から頼りにされていた。兄は遠方に住んでいて、交流は少ない。父母もすでに亡くなっている。銀行勤めが長く、几帳面で金銭管理をしっかりと行い、一人で老後を迎えるのに備えて、任意後見人に弁護士を選んでいった。趣味は園芸である。コーヒーや紅茶などの嗜好品が好きである。	
環境因子	友人は働いていた時代の同僚が中心であったが、年齢や生活環境の変化等から、友人との交流はほとんどなくなった。仲のよい友人がこれまでに 1 度、訪問してきて話をしたことがある。	
使用可能な物品	モジュール型車いす、ベッド、L 字バー、サイドレール、枕カバー、シーツ、靴、床頭台、トレー、紙コップ…ホルダー付き(コーヒー、紅茶、水)、喫茶メニュー表、園芸用品(じょうろ、プランター×2)、Hug、ペーパータオル×2、ごみ箱×2、洗面台×2、消毒液×2	

※プランターの中身は、造花が 4 輪、咲いているもの 2 輪と咲いていないもの 2 輪準備しています。時間の都合上、おしぼりを削除しています。

## 会場レイアウト



### 【その他の確認事項】

- ・利用者はトイレにズボンを脱いだ状態で座っています。(課題物品の資料を参照)
- ・トレー、紙コップ(ホルダー含む)は「飲料」のところに設置しています。
- ・喫茶メニュー表は「テーブル」に設置しています。
- ・車いすはたんでブレーキをかけた状態です。
- ・居室の窓、入口ドア、アコーディオンカーテンは表示のみです。
- ・「棚」の上にはジョウロがあります。
- ・車いす、Hugの安全点検等は終了しています。
- ・ベッド、テーブルなどのロックはすべてかかっています。
- ・洗面台(2か所)には消毒液が設置してあります。
- ・入口ドアとアコーディオンカーテンの矢印は開ける方向です。
- ・トイレ内の手すりは座って右側の1か所です。